# 平成22年度 財政状況資料集

総括表(都道府県)

*****	÷		_	職員の状況				区分		平成21年度(千円)		区分	平成22年度(千円·%)	
都道府県名	富山県	1	区分	定数		人あたり平均 料月額(百円)	歳入総額 歳出総額		575, 387, 199 552, 818, 858		実質収支比率 経常収支比率		0. 4 92. 2	0. 4 97.
		特	知事		1	11, 050	歳入歳出差	H	22, 568, 341	12, 422, 454	(※1)		(113.6)	(118.5
グループ	С	別	副知事		1		型年度に繰起 実質収支	越すべき財源	21, 290, 633 1, 277, 708		標準財政規模 財政力指数		290, 906, 642 0. 45902	281, 956, 778 0. 4816
	22年国調(人) 1,093,247	職等			1		単年度収支		98, 625		公債費負担比率		25. 7	25. 9
人口	17年国調(人) 1,111,729	7	議会副議長		1		積立金		1, 880		健全化判断比率			
	増減率 (%) -1.7		議会議員		38		繰上償還金		179	70, 622	実質赤字比率		-	
ᄷᄆᄫᆂᅩᄼᄩᆝᄆ	23. 03. 31 (人) 1, 092, 885		区分	職員数 (人)	給料月額 (百円)	1人あたり平均 給料月額(百円)	積立金取崩 実質単年度 4		100, 684	218, 695	連結実質赤字比率		10.0	17
住民基本台帳人口	22. 03. 31 (人) 1, 097, 736 増減率 (%) -0. 4		一般職員	4, 463	15, 638, 352		美貝里 年度 · 基準財政収 /		89, 068, 454	98, 690, 010	実質公債費比率 将来負担比率		18. 2 267. 2	17. ( 278. 4
面積(km)	2,046	1 -	うち消防職員	-, 400	10, 000, 002	- 0,004	基準財政需要		210, 912, 763		資金不足比率(※3)		207.2	270.
人口密度(人/k㎡)	534	般職	うち技能労務職員	274	974, 892		標準税収入額		111, 907, 180	124, 273, 859				
世帯数(世帯)	383, 439	員	警察官	1, 918	6, 319, 810		経常経費充計		279, 484, 645	277, 397, 034				
		等	教育公務員	8, 290 9	32, 507, 894 30, 168		歳入一般財派 地方債現在高		342, 658, 860 1, 144, 191, 897	345, 136, 814 1, 089, 983, 539				
			臨時職員 合計	14, 680	54, 496, 224				1, 144, 191, 897 384, 033, 128	392, 856, 750				
			ラスパイレス指数	11,000	01, 100, 221			<b>為額(支出予定額)</b>	57, 826, 186	49, 274, 008	1			
							収益事業収入	(	3, 149, 326	3, 450, 646				
							定額運用基金		18, 482, 204	18, 119, 851				
							土地開発表	基金 財政調整金	9, 341, 350 2, 172, 360	8, 890, 733 2, 170, 480	1			
							槓立金 :	の以前を立 咸債基金	4, 174, 724					
								その他特定目的基金	47, 990, 129	56, 946, 385				
			F-											
一般会計等の一覧 項番	争業 会計名 項番	会計の E	一覧 会計名		営企業(法適) <i>0</i> i番	)一覧 会計名		公営企業(法非適)の一覧 項番 会	≅ 会計名	関係する一部事務組 項番	1台等一覧 組合等名	地万公社・第 項番	三セクター等一覧 団体名	(※2)
(1) 一般会計	An 1 7(a)	•	And		3) 電気事業会計	And		(18) 流域下水道事業特別会		(21) 該当なし	WE T 47.0	(22) 富山県道		(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
(2) 物品調達等管理特別	会計			(1	4) 水道事業会計			(19) 工業用地等管理特別会	<b>≩</b> #†			(23) 富山県土	:地開発公社	
(3) 公債管理特別会計				(1	5) 工業用水道事業	<b>美会計</b>		(20) 港湾施設特別会計				(24) (財)富山	県高等教育振興財団	
(4) 収入証紙特別会計				(1	6) 地域開発事業会	<b>≩</b> 計						(25) (財)富山	1県消防設備保守協会	
(5) 母子寡婦福祉資金特	別会計			(1	7) 病院事業会計							(26) (株)チョ	.ーリップテレビ	
(6) 中小企業活性化資金	特別会計											(27) (財)富山	県文化振興財団	
(7) 農業改良資金特別会	計											(28) (財)とや	ま環境財団	
(8) 沿岸漁業改善資金特	別会計											(29) (財)とや	ま国際センター	
(9) 林業振興・有峰森林	特別会計											(30) (財)富山	県女性財団	
(10) 奨学資金特別会計												(31) 加越能銳	(株)	
(11) 公共用地先行取得事	業特別会計											(32) 富山地方	<b>;</b> 鉄道(株)	
(12) 「元富山県営水力電 計	気並鉄道事業」資金特別会											(33) (財)富山	県健康スポーツ財団	
												(34) (財)富山	県生活衛生営業指導セン	ター
												(35) (財)富山	I県移植推進財団	
												(36) (財)富山	県アイバンク	
												(37) (財)富山	1会館	
												(38) (財)富山	I県新世紀産業機構	
												(39) (財)富山	県産業創造センター	
												(40) (財)富山	J産業展示館	
												(41) (財)富山	1勤労総合福祉センター	

### (注釈)

- .787/ ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:地方公共団体が損失補塡等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。 ※3:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

平成22年度

富山県

# (1) 普通会計の状況(都道府県)

歳入の	)状況(単位 千円	• %)			都道府県税	の状況 (単位 千円	• %)	
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	115, 937, 565	20. 1	101, 969, 019		普通税	115, 914, 352	100.0	847, 918
地方譲与税	15, 701, 486	2. 7	15, 701, 486	6. 4	法定普通税	115, 914, 352	100.0	847, 918
地方揮発油譲与税	2, 562, 119	0.4	2, 562, 119	1. 0	道府県民税	41, 172, 141	35. 5	847, 918
地方道路讓与税	6	0.0	6	0.0	個人均等割	835, 119	0.7	280, 832
特別とん譲与税	-	-	-	-	所得割	32, 993, 678	28. 5	-
石油ガス譲与税	171, 859	0.0	171, 859	0. 1	法人均等割	1, 462, 828	1.3	69, 423
航空機燃料讓与税	27, 722	0.0	27, 722	0.0	法人税割	3, 947, 932	3.4	497, 663
地方法人特別譲与税	12, 939, 780	2. 2	12, 939, 780	5. 3	利子割	1, 260, 844	1.1	_
市町村たばこ税都道府県交付金	-	_	-	-	配当割	517, 143	0.4	_
地方特例交付金	1, 353, 423	0. 2	1, 353, 423	0.5	株式等譲渡所得割	154, 597	0. 1	-
児童手当及び子ども手当特例交付金	1, 029, 943	0. 2	1, 029, 943	0.4	事業税	16, 918, 323	14. 6	_
減収補塡特例交付金	323, 480	0.1	323, 480	0. 1	個人分	891, 209	0.8	-
地方交付税	125, 206, 119	21.8	121, 840, 169	49.5	法人分	16, 027, 114	13.8	-
普通交付税	121, 840, 169	21. 2	121, 840, 169	49.5	地方消費税	21, 918, 859	18. 9	-
特別交付税	3, 365, 950	0.6	-	-	不動産取得税	2, 246, 318	1.9	_
(一般財源計)	258, 198, 593	44. 9	240, 864, 097	97. 9	道府県たばこ税	2, 038, 470	1.8	_
交通安全対策特別交付金	418, 783	0.1	418, 783	0. 2	ゴルフ場利用税	380, 520	0.3	_
分担金・負担金	5, 089, 451	0.9	-	-	自動車取得税	1, 786, 986	1.5	_
使用料	6, 866, 030	1. 2	3, 968, 892	1.6	軽油引取税	11, 779, 355	10. 2	_
手数料	2, 119, 384	0.4	_	-	自動車税	17, 671, 503	15. 2	_
国庫支出金	66, 752, 251	11.6	-	-	鉱区税	1, 877	0.0	-
国有提供交付金	-	_	-	-	固定資産税特例	-	-	-
財産収入	1, 512, 268	0.3	227, 894	0. 1	法定外普通税	-	-	_
寄附金	691, 091	0.1	_	-	目的税	13, 906	0.0	-
繰入金	19, 510, 228	3.4	-	-	法定目的税	13, 906	0.0	_
繰越金	12, 422, 454	2. 2	-	-	狩猟税	13, 906	0.0	-
諸収入	75, 413, 447	13. 1	622, 338	0.3	法定外目的税	-	-	_
地方債	126, 393, 219	22. 0	-	-	旧法による税	9, 307	0.0	_
うち減収補塡債(特例分)	_	_	-	-	合計	115, 937, 565	100.0	847, 918
うち臨時財政対策債	57, 159, 000	9.9	-	-				
歳入合計	575, 387, 199	100.0	246, 102, 004	100.0				

区分		平成224	丰度	平成21年度			
	合計	98. 8	97. 1	98. 7	97. 2		
	道府県民税	98. 6	94. 5	98. 2	94. 9		
	事業税	99. 8	99. 2	99. 9	99. 3		

一番通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

	歳出の	)状況(崖	位 千円・%)			
			(単位 千円・%)			
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建	設事業費	(A)のうち充	当一般財源等
議会費	969, 641	0. 2		-		969, 641
総務費	23, 811, 209	4. 3	:	2, 044, 555		18, 995, 653
民生費	61, 485, 200	11.1	4	4, 153, 093		46, 728, 633
衛生費	15, 465, 611	2. 8		1, 291, 761		8, 710, 873
労働費	11, 752, 666	2. 1		1, 498		877, 597
農林水産業費	40, 764, 738	7.4	2:	2, 381, 918		12, 521, 859
商工費	62, 380, 122	11.3		1, 714, 569		7, 269, 359
土木費	105, 920, 559	19. 2	83	3, 772, 109		21, 850, 727
警察費	25, 354, 003	4. 6		1, 007, 978		22, 627, 215
消防費	-	_		_		-
教育費	101, 747, 922	18. 4	1	2, 848, 958		79, 400, 370
災害復旧費	722, 277	0. 1		-		77, 396
公債費	89, 187, 342	16. 1		-		87, 983, 457
諸支出費	136, 940	0.0		-		136, 940
前年度繰上充用金	-	-		-		-
利子割交付金	678, 994	0. 1		-		678, 994
配当割交付金	304, 831	0. 1		-		304, 831
株式等譲渡所得割交付金	91, 821	0.0		-		91, 821
地方消費税交付金	10, 535, 444	1. 9		-		10, 535, 444
ゴルフ場利用税交付金	266, 679	0.0		-		266, 679
特別地方消費税交付金	-	-		-		-
自動車取得税交付金	1, 242, 859	0. 2		-		1, 242, 859
軽油引取税交付金	-	-		-		-
特別区財政調整交付金	-	-		-		-
歳出合計	552, 818, 858	100.0		9, 216, 439		321, 270, 348
	性質別歳		(単位 千円・%)			( <del>=</del> 1)( .  -     =
区分	決算額	構成比	充当一般財源等		当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	233, 776, 977	42. 3 25. 3	207, 216, 778		04, 851, 463	67. 5 37. 6
人件費 うち職員給	139, 617, 050	25. 3 18. 1	116, 268, 718		13, 917, 332	26.9
けら戦員和 ・ ・ ・ 扶助費	100, 146, 028 5, 021, 636	0. 9	81, 683, 633 3, 013, 654		81, 681, 757 3, 013, 654	1.0
公信費	89, 138, 291	16.1	87, 934, 406		87, 920, 477	29. 0
内元利償還金	89, 109, 697	16. 1	87, 934, 400 87, 905, 812		87, 891, 883	29. 0
訳   一時借入金利子	28, 594	0.0	28, 594		28, 594	0.0
その他の経費	199, 103, 165	36. 0	96, 683, 164		74, 633, 182	24. 6
物件費	23, 627, 619	4. 3	14, 705, 697		14, 391, 829	4. 7
維持補修費	6, 743, 255	1. 2	5, 661, 013		5. 661. 013	1. 9
補助費等	85, 992, 890	15. 6	71, 885, 224		54, 104, 051	17.8
繰出金	2, 478, 426	0.4	2, 025, 563		,	
精立金	10, 491, 489	1. 9	881, 508		_	_
投資及び出資金	322, 728	0. 1	228. 728		_	_
貸付金	69, 446, 758	12. 6	1, 295, 431		476, 289	0. 2
前年度繰上充用金	-	-	-,, 101		-	
投資的経費計	119, 938, 716	21. 7	17, 370, 406			
うち人件費	1, 855, 281	0. 3	1, 442, 623			
普通建設事業費	119, 216, 439	21. 6	17, 293, 010			
うた結助	46, 752, 969	8. 5	1, 582, 562			
円   うち単独	56, 989, 049	10.3	13, 915, 512			
訳 災害復旧事業費						
ヘロ以山ず不見	722, 277	0. 1	77, 396			
失業対策事業費歳出合計	722, 277 - 552, 818, 858	0.1	77, 396 - 321, 270, 348			

# (2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(都道府県) \_ 教会計等の財政状況 (単位: 西万円)

会計名	裁入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの 繰入金	地方債 現在高	備考
一般会計	589, 258	570, 363	18, 895	550	19, 028	1, 142, 875	
物品調連等管理特別会計	858	631	227	227	0	0	
公價管理特別会計	118, 113	118, 113	0	-	89, 284	0	
収入証紙特別会計	4, 325	4, 259	66	66	0	0	
母子寡婦福祉資金特別会計	120	87	33	-	0	296	
中小企業活性化資金特別会計	2,613	582	2, 031	-	0	8, 541	
農業改良資金特別会計	376	11	365	-	1	84	
沿岸漁業改善資金特別会計	226	32	194	-	1	0	
林業振興・有峰森林特別会計	482	329	153	-	56	0	
(契学資金特別会計	381	212	169	-	35	0	
公共用地先行取得事業特別会計	1, 756	1, 321	435	435	3	544	
2 「元富山県営水力電気並鉄道事業」資金特別会計	3, 959	0	3, 959	3, 959	0	0	
3							
1							
5							
3							

			2當企業会計等の財政状況(禅位:高万円)							
	会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剩余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足比率	備考
1	電気事業会計	3, 656	3, 540	116	4, 195	0	7, 466	0		法適用企業
2	水道事業会計	2, 142	1, 941	202	1, 389	309	8, 606	155		法適用企業
3	工業用水道事業会計	2,040	1, 720	319	1, 108	163	5, 825	0		法適用企業
4	地域開発事業会計	126	79	48	97	0	20	0		法適用企業
5	病院事業会計	20, 763	20, 399	365	3, 669	3, 188	18, 378	11, 101		法適用企業
6	流域下水道事業特別会計	9, 721	7, 761	1, 960	1, 825	1, 487	19, 122	15, 393		
7	工業用地等管理特別会計	1,021	291	730	-	93	144	0		
8	港湾施設特別会計	2, 507	2, 463	44	-	446	14, 288	3, 286		
9										
10										
11										
12										
13										
14							l			<u> </u>
15										
16							l			
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23							ļ			
24										
25										
25 26										
26 27										
27										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35							ļ			ļ
36										
37							ļ			
38							ļ			
39										
10										
\$1										
12										
13										
14										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
41	公営企業会計等				12, 283		73, 849	29, 935		

系する一部事務組合等の財政状況	(単位:百万円)	
		١

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剩余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 該当なし								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等								

							<u></u>	成22年度		山県
方公	社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の! 地方公社・第三セクター等名	財政的支援の状況 (単位: 経常損益	百万円) 純資産又は 正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの 債務保証に係る	当該団体からの 損失補償に係る	一般会計等 負担見込額	
T	富山県道路公社	254	4, 704	5, 745	32	3,088	債務残高 8,399	債務残高	NIE SOLEM	
╫	富山県土地開発公社	▲2,937	131	5, 745	0	3,000	0, 389			
╁	(財)富山県高等教育振興財団	0	504	395	0	0				
⊦	(財)富山県消防設備保守協会	1	10	1	0	0				
╁	(株)チューリップテレビ	5	2, 967	40		240				
+	(財)富山県文化振興財団	5	2, 907	6	28	0				
+	(財)とやま環境財団	3	666	485	79	0				
+	(財)とやま国際センター	▲9	911	520	119	0				
╫	(財)富山県女性財団	A1	48	320	0	0				-
+	加越能鉄道(株)	▲213	263	10	69	0				
+	富山地方鉄道(株)	▲213 ▲160	6, 332	55	190	0				
+	(財)富山県健康スポーツ財団	▲123	1,805	32	6	0				-
+		0								
+	(財)富山県生活衛生営業指導センター (財)富山県移植推進財団	0	10	2 15	20	0				-
⊦	(財)富山県アイバンク	3	75	10	1	0				-
╁	(財)富山余館	3	527	30	0	0				
+	(財)富山県新世紀産業機構	▲57	4, 321	11	326	5, 377				-
╀	(財)富山県産業創造センター	▲24	1,933	30	2	0,377				
-	(財)富山産業展示館	▲24 ▲8	1, 933	30	0	0				
+	(財)富山助労総合福祉センター		585							
╁	(財) 近畿富山会館	<b>▲</b> 65	850	19	103	0				-
⊦	(財)富山県労働福祉基金	1	303	99	2	0				-
H										-
╀	(株)富山県総合情報センター	11	1, 821	600	4	0				
+	(財)富山県勤労者信用基金協会 富山県いさいき物産(株)	40	1,016	182	0	0				<u> </u>
╀				40						-
H	(株)富山県産業高度化センター	2	1,408	400	0	0				
╄	(財)富山コンベンションビューロー	0	115	15	15	0				
╄	(社)富山県野菜価格安定資金協会	3	267	143	0	0				
H	(財)花と緑の銀行	2	22	4	107	0				
╄	(社)富山県畜産振興協会	0	333	113	6	0				
╄	(株)富山食肉総合センター	19	565	57	28	80				
╄	(財)富山県建設技術センター	31	224	3	0	0				
╄	(財) 伏木富山港・海王丸財団	1	890	25	71	0				
╄-	(財)立山カルデラ砂防博物館	0	30	20	0	0				
╄	(財)富山県民福祉公園	12	941	3	1	0				
╄	(財)富山県下水道公社	13	157	23	0	0				
4	富山空港ターミナルビル(株)	146	1,726	333	0	1, 215				
₽	(財)富山県公営企業振興団	1	4	1	0	0				
╄-	(財)富山県暴力追放運動推進センター	1	754	635	0	0				
₽	(財)富山県防犯協会	0	94	20	7	0				
0		▲4	3, 421	267	541	15, 522		21,306	10, 653	
1	(財)富山県ひとづくり財団	▲3	1,394	298	38	0				
╄	とやま医療健康システム(株)	▲55	1, 160	375	0	0				
4										<u> </u>
										<u> </u>
4										<u> </u>
-				1						

	大只公民只比十 (11)	- 70/									刊本具担比中	(1111-70)					
	区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比		区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比		内訳	平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比
元利信	這還金	86, 505, 698	87, 303, 227	86, 415, 327	36. 0	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	1, 048, 826, 590	1, 097, 292, 223	1, 152, 340, 432	480. 1	PFI事業	係るもの	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	3, 507, 920	5, 240, 567	6, 330, 887	2.6		債務負担行為に基づく支出予定額	1, 221, 545	1, 018, 541	862, 122	0.4	いわゆる	五省協定等に係るもの	-	_	-	
準元	公営企業債の元利償還金に対する緑入金	3, 316, 375	3, 422, 343	3, 302, 387	1.4		公営企業債等繰入見込額	32, 639, 149	31, 726, 190	29, 934, 628	12. 5	国営土地	改良事業に係るもの	-	_	-	
利信	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	-	-	-		組合等負担等見込額	-	-	-	-	· 森林総合	研究所等が行う事業に係るもの	-	_	-	
還金	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	1, 245, 031	1,040,636	916, 704	0.4		退職手当負担見込額	160, 520, 875	159, 509, 510	158, 913, 846	66. 2	務 地方公務	員等共済組合に係るもの	1, 167, 113	1, 018, 541	862, 122	0. 4
	一時借入金の利子	56, 056	47, 116	29, 698	0.0		設立法人等の負債額等負担見込額	15, 159, 144	15, 152, 752	10, 739, 228	4. 5	担依頼土地	の買い戻しに係るもの	-	_	-	
	合計 (7)	94, 631, 080	97, 053, 889	96, 995, 003			連結実質赤字額	-	-	-	-	為 社会福祉	法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	
	内訳	平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	損失補償	・債務保証の履行に係るもの	-	_	-	
	PFI事業に係るもの	-	-	-	-		合計 (工)	1, 258, 367, 303	1, 304, 699, 216	1, 352, 790, 256		引き受け	た債務の履行に係るもの	-	-	-	
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	充当可能財源等	<sup>等</sup> 充当可能基金	25, 423, 094	24, 824, 183	29, 373, 805	12. 2	その他上	記に準ずるもの	54, 432	-	-	
	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-		充当可能特定歳入	18, 624, 297	17, 120, 391	11, 736, 938	4.9	•	流域下水道事業特別会計	16, 485, 689	16, 251, 542	15, 392, 877	6. 4
債務	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		基準財政需要額算入見込額	578, 221, 611	622, 484, 554	670, 397, 267	279.3		病院事業会計	12, 892, 153	11, 802, 124	11, 100, 527	4. 6
負担	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-		合計 (才)	622, 269, 002	664, 429, 128	711, 508, 010		企業債等 級入見込額	港湾施設特別会計	3, 050, 313	3, 496, 740	3, 286, 318	1. 4
行為	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	将来負担比率((	エ) - (オ)) / ((イ) - (ウ)) × 1 0 0	276. 2	278.4	267. 2			水道事業会計	210, 994	175, 784	154, 906	0.1
	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-								その他の会計	-	-	-	
	その他上記に準ずるもの	400, 320	267, 429	197, 282	0.1								地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	
	利子補給に係るもの	844, 711	773, 207	719, 422	0.3							公社・ 三セク等	土地開発公社に係る将来負担額	4, 400, 750	4, 384, 563	-	
標準別	才政規模 (イ)	285, 984, 496	281, 956, 778	290, 906, 642									その他第三セクター等に係る将来負担額	10, 758, 394	10, 768, 189	10, 739, 228	4. 5
1		1			Γ								•				

健全化判断比率	平成22年度(再掲)	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	3. 75	5.00
連結実質赤字比率	-	8. 75	20.00
実質公債費比率	18. 2	25. 0	35.0
将来負担比率	267.2	400 0	

(単年度) (3ヵ年平均)

※平成20年度決算の元村假選金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。
※実質公債費比率の((ア)-(ウ))は特定財源の額を控除している。

230, 302, 105 229, 925, 323 239, 997, 216

19. 0

16.9

# (3)都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

平成22年度

富山県

1.092.885 人(H23.3.31現在) 実 質 赤 字 比 率 連 結 実 質 赤 字 比 率 2,045.79 km² 入出實 黄公 18.2 % 552, 818, 858 千円 H: BE 267.2 96 1,277,708 千円 プ H18 C H19 C H20 C 290, 906, 642 TH ) H21 С H22 C 1 144 191 897

● 当該団体値 ◆ グループ内平均値 ガリーゴ 中の 最大値及び最小値

160.0

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。

Aグループ 1,000以上、Bグループ 0,500以上1,000未満、Cグループ 0,400以上0,500未満、Dグループ 0,300以上0,400未満、Eグループ 0,300未満 〕

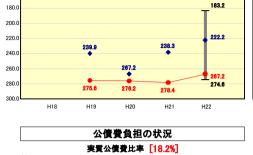
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

#### 財政力 財政力指数 [0.46] 0.48 0.47 0.46 0.46 0.44 0.45 0.43 0.42 0.40 0.40 0.38 H18 H19 H20 H21 H22

#### グループ内順位 都道府県平均

#### 財政力指数の分析欄

単年度の指数としては、景気低迷に伴う法人関係税の減少などにより、0.04 ポイント低下、3ヵ年平均の指数もH21から0.02ポイント低下。引き続き、企 業誘致や新産業の創出、中小企業対策など、県内経済の活性化等による 税源の涵養、徴収対策の強化など、税収増に努める。



将来負担の状況

将来負担比率 [267.2%]

## **写来會和比率の分析欄**

グループ内層位 都道府県平均 10/11

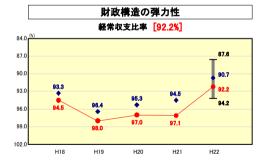
河川工事等による県土の保全、社会資本の整備などに伴う県債残高に加 え、近年は、北陸新幹線の工事の進捗に伴う県債の発行がピーク期を迎え ていることから、県債残高が高水準で推移しており、類似団体と比較して高 い傾向にある。県債発行の抑制等の取組みにより、将来負担比率の抑制



#### グループ内層位 都道府県平均 11/11

#### **変質公債費比率の分析欄**

河川工事等による県土の保全、社会資本の整備などに伴う公債費が高水 準で推移していることから、類似団体と比較して高い傾向にある。H22~H24 の3ヵ年において公的資金補償金免除繰上償還を行い、低利資金に借り換 えるとともに、資金調達方法の多様化を推進し、実質公債費比率の抑制に



### グループ内順位 8/11

### 経常収支比率の分析機

グループ内層位

分母である経常一般財源等については、地方税が減少したものの、地方交 付税、地方譲与税及び臨時財政対策債の増加により6.2%増加。分子であ る経常経費充当一般財源等については、公債費が減少したものの、社会保 障関係費の増嵩に伴う補助費等の増加により0.3%増加。これらにより、経 常収支比率は4.9ポイント改善。引き続き、高利率資金の繰上償還、30年債 の導入による公債費負担の平準化を講じるほか、定員適正化計画による 職員数の減や事務事業の見直し等、行政改革に取り組む。

都道府県平均

都道府県平均

117.663



#### 都道府県平均 1.133.74 9/11

#### 人口10万人当たり職員数の分析機

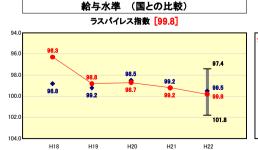
一般行政部門の職員を対象とする定員適正化については、平成17年2月に 策定した定員適正化計画(平成21年4月までの5年間で、10%、416人の削 減目標)に基づき、職員数の削減に努めた結果、目標を大幅に上回る 13.8%、575人の削減を達成。依然として、厳しい社会経済情勢に鑑み、引 き続き、平成22年2月に策定した定員適正化計画に基づき、平成26年4月ま での5年間で7.2%(257人)の削減を目標(平成16年から10年間で20%の削 減)として、職員数の削減に努める。



# 9/11

#### 人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

類似団体平均に比べ高くなっているのが、人件費は職員数の削減等の行 政改革の取組みにより、減少傾向。物件費は、国からの交付金を活用した 雇用対策を実施したため、前年度から増加している。



#### グループ内層位 都道府県平均 8/11

#### ラスパイレス指数の分析欄

23年度から職員の給料の減額措置(管理職員△3%~△2%)を実施してい る。H19の指数がそれ以前よりも高くなっているのは、17年度から3年間実施 した減額措置(管理職員△5%、一般職員△3%)の内容が20年度から変 わったため(管理職員 $\Delta 4\%$ ~ $\Delta 3\%$ 、一般職員 $\Delta 1\%$ )。20年度から当分の 間、地域手当(富山市内勤務の場合、支給率3%)を凍結中であり、H23地 域手当補正後ラスパイレス指数は、97.8となる(グループ内順位5/11)。今後 も、社会情勢の変化や、国・他都道府県の状況に照らしながら、各種手当 等の適時適切な見直しを行う。

# (4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

富山県

## 経常収支比率の分析

1.092.885 人(H23.3.31現在) 2.045.79 km - 96 18.2 % 一歳歳 575.387.199 千円 552,818,858 千円 267. 2 % 1,277,708 千円 プ H18 C H19 C H20 C 290, 906, 642 千円 H22 C ) H21 C 地方債現在高 1.144.191.897 千円

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。

Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]

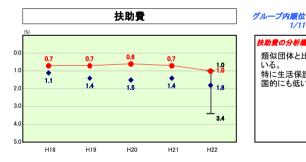
人件費 34.0 35.8 36.0 38.0 39.0 40.0 42.0 41.6 42.1 43 2 44 1 H18 H19 H20 H21 H22

グループ内層位 都道府県平均 3/11

#### 人件書の分析欄

類似団体と比較すると、人件費に係る経常収支比率は低くなって

これは、定員的適正化計画に基づく職員数の削減が目標を大きく 上回っており、基本給が減少しているためである。今後も、職員数 が減少する見込みであり、人件費全体では減少傾向にある。



### 扶助費の分析欄

類似団体と比較すると、扶助費に係る経常収支比率は低くなって

特に生活保護費の下回り幅が大きく、被生活保護者数の割合が全 国的にも低いことが影響している。



# グループ内層位

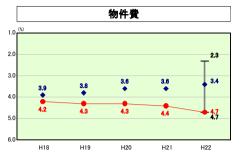
# 都道府県平均

#### 公債費の分析欄

類似団体と比較すると、公債費に係る経常収支比率は高くなって

これは、河川工事等による県土の保全、社会資本の整備などに伴 う公債費が高水準で推移しており、また、新幹線整備事業に伴う県 債の発行や、臨時財政対策債等の特例的な地方債に係る元利償 還金が増加しているためである。

地方債の発行の抑制、県債発行の多様化、繰上償還、30年債導 入などにより公債費負担の平準化に努める。



#### グループ内順位 11/11

#### 物件書の分析欄

類似団体と比較すると、物件費に係る経常収支比率は高くなって

国の雇用関係交付金を活用した事業の実施により、全体額は増加 している。

なお、経常的経費については、予算編成時におけるシーリングの 設定等による節減の取組みを行っている。



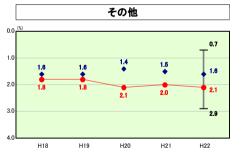
## グループ内順位

#### 都道府県平均 21.9

### 6/11 補助書等の分析欄

類似団体と比較すると、補助費等に係る経常収支比率はやや高く なっている。

これは、介護保険・後期高齢者医療制度等の社会保障関係の負 担金等が年々増加し、ウェイトが高くなっているためである。



## グループ内層位

### その他の分析欄

類似団体と比較すると、その他に係る経常収支比率は高くなって

これは、除雪費などにより維持補修費に係る経常収支比率が類似 団体を上回っているためである。



#### グループ内順位 8/11

#### 公信着以外の分析欄

類似団体と比較すると、公債費以外に係る経常収支比率はやや 高くなっている。

これは、類似団体と比較して、人件費に係る経常収支比率が低い 一方で、物件費、維持補修費に係る経常収支比率が高いためであ る。

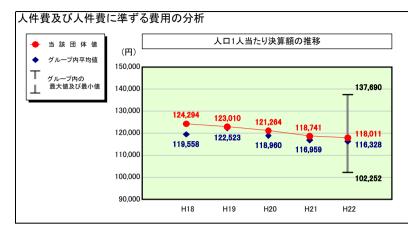
● 当該団体値

◆ グループ内平均値

最大値及び最小値

⊤ グループ内の

# (4)-2 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)



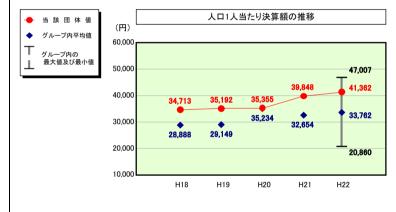
# 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	グループ内平均(円)	対比(%)
人件費	139, 617, 050	127, 751	124, 318	2. 8
賃金(物件費)	465, 021	425	678	<b>▲</b> 37. 3
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	345, 604	316	563	<b>▲</b> 43. 9
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	1	1	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	28	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1, 855, 281	1, 698	1, 845	▲ 8.0
▲退職金	<b>▲</b> 13, 310, 291	<b>▲</b> 12, 179	<b>▲</b> 11, 105	9. 7
合計	128, 972, 665	118, 011	116, 328	1.4

#### 参考

	当該団体	グループ内平均	対比(差引)
人口100,000人当たり職員数 (人)	1, 343. 23	1, 316. 53	26. 70
ラスパイレス指数	99. 8	99. 5	0. 3

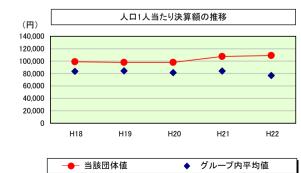
## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額	人口1人当たり決算額		
	(千円)	当該団体(円)	グループ内平均(円)	対比(%)
元利償還金の額	86, 415, 327	79, 071	66, 638	18. 7
(繰上償還額等を除く)	00, 413, 327	79, 071	00, 030	
積立不足額を考慮して算定した額	322, 620	295	858	<b>▲</b> 65. 6
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの	6, 330, 887	5, 793	6, 150	<b>▲</b> 5.8
(年度割相当額)	0, 330, 667	3, 793	0, 130	<b>A</b> 3. 0
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	3, 302, 387	3, 022	1, 709	76. 8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負			6	
担金に充当する一般財源等額	_	_	U	_
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する	916, 704	839	1, 381	▲ 39.2
一般財源等額	310, 704	009	1, 301	▲ 39. 2
一時借入金利子	29, 698	27	21	28. 6
(同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	29, 090	21	21	20. 0
▲特定財源の額	<b>▲</b> 1, 203, 885	<b>▲</b> 1, 102	<b>▲</b> 2, 075	<b>▲</b> 46.9
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として	<b>▲</b> 50, 909, 426	<b>▲</b> 46, 583	<b>▲</b> 40, 925	13. 8
普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 30, 909, 420	<b>4</b> 0, 303	· · · · · ·	
合計	45, 204, 312	41, 362	33, 762	22. 5

# (参考) 普通建設事業費の分析



#### 普通建設事業費

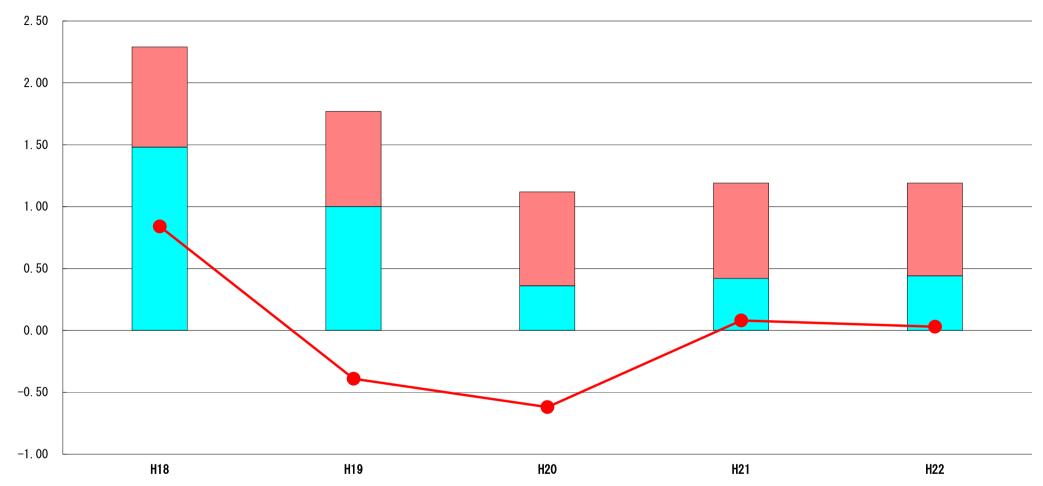
		当該団体決算額		人口1人当たり決算額				
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	グループ内平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)	
H18		110, 032, 828	99, 065	<b>▲</b> 6.0	83, 409	<b>▲</b> 20.9	14. 9	
	うち単独分	40, 976, 986	36, 893	<b>▲</b> 6.1	31, 105	▲ 7.7	1. 6	
H19		108, 411, 748	97, 991	▲ 1.1	84, 220	1. 0	<b>▲</b> 2.1	
	うち単独分	45, 079, 743	40, 747	10. 4		▲ 3.4	13. 8	
H20		108, 049, 528	98, 081	0. 1	81, 474	<b>▲</b> 3.3	3. 4	
ĺ	うち単独分	44, 570, 113	40, 458	▲ 0.7	26, 088	<b>▲</b> 13. 2	12. 5	
H21		117, 938, 900	107, 438	9. 5	84, 024	3. 1	6. 4	
	うち単独分	54, 121, 298	49, 303	21. 9	32, 163	23. 3	<b>▲</b> 1.4	
H22		119, 216, 439	109, 084	1. 5	76, 760	▲ 8.6	10. 1	
	うち単独分	56, 989, 049	52, 146	5. 8	32, 105	▲ 0.2	6.0	
過去5年間平均		112, 729, 889	102, 332	0.8		<b>▲</b> 5. 7	6. <u>5</u> 6. 5	
[	うち単独分	48, 347, 438	43, 909	6. 3	30, 304	▲ 0.2	6. 5	

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析(都道府県)

平成22年度

富山県

# 標準財政規模比(%)



# 標準財政規模比(%)

区分 年度	H18	H19	H20	H21	H22
財政調整基金残高	0. 81	0. 77	0. 76	0. 77	0. 75
実質収支額	1. 48	1. 00	0. 36	0. 42	0. 44
<b>上</b> 実質単年度収支	0. 84	▲ 0.39	▲ 0.62	0. 08	0. 03

# 分析欄

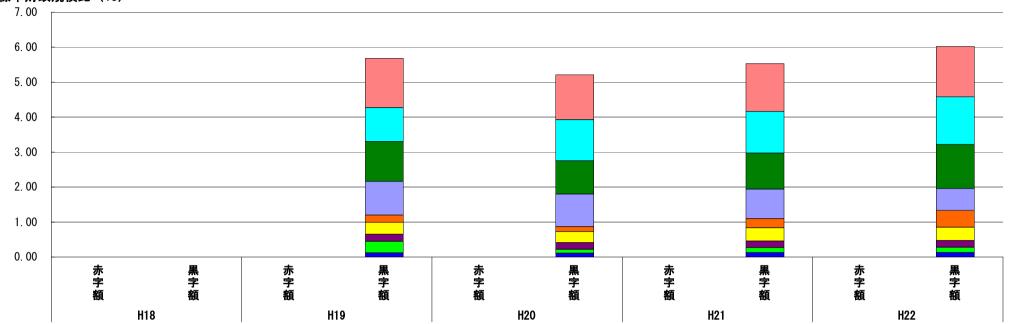
分子である実質収支について、歳入では県税の減少や、国からの交付金の大幅な減少などにより、全体で減少。歳出では、国の交付金を財源とした基金の積立ての大幅な減少により、全体で減少。これにより、実質収支は、8.4%増加している。また、分母である標準財政規模については、地方税が減少したものの、普通交付税額、臨時財政対策債の増加により3.2%増加している。

# (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(都道府県)

平成22年度

富山県

# 標準財政規模比(%)



# 標準財政規模比(%)

年度 会計	H18	H19	H20	H21	H22
電気事業会計	-	1. 41	1. 28	1. 37	1. 44
「元富山県営水力電気並鉄道事業」資金特別会 計	-	0. 97	1. 18	1. 19	1. 36
病院事業会計	-	1. 14	0. 95	1.03	1. 26
流域下水道事業特別会計	-	0. 96	0. 93	0. 84	0. 63
水道事業会計	-	0. 21	0. 14	0. 26	0. 48
工業用水道事業会計	-	0. 34	0. 32	0. 38	0. 38
一般会計	-	0. 20	0. 19	0. 19	0. 19
公共用地先行取得事業特別会計	-	0. 33	0. 11	0. 14	0. 15
その他会計(赤字)	-	_	-	-	-
その他会計(黒字)	-	0. 12	0. 11	0. 13	0. 13

## 分析欄

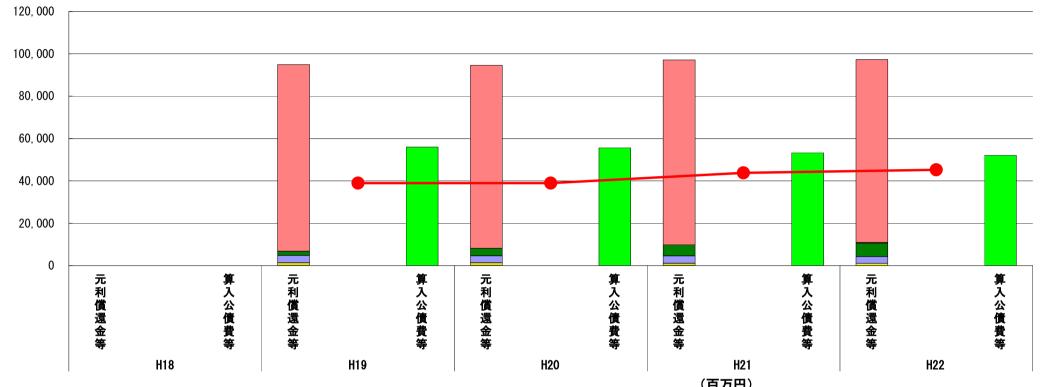
分子である実質収支額については、病院事業会計における医業収益の増、水道事業会計における借入金償還の減等により、黒字額が全体で増加している。分母である標準財政規模についても、地方税が減少したものの、普通交付税額、臨時財政対策債の増加により3.2%増加している。

# (7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (都道府県)

平成22年度

富山県

# (百万円)



						(ロハロ/
分子の構造	年度	H18	H19	H20	H21	H22
	元利償還金	-	88, 163	86, 506	87, 303	86, 415
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	_	323
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	1, 983	3, 508	5, 241	6, 331
元利償還金等(A)	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	_	3, 441	3, 316	3, 422	3, 302
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額	_	1, 250	1, 245	1, 041	917
	一時借入金利子	-	56	56	47	30
算入公債費等(B)	算入公債費等	_	55, 958	55, 682	53, 310	52, 113
(A) - (B)	━━ 実質公債費比率の分子	-	38, 935	38, 949	43, 744	45, 205

## 分析欄

償還期間の長期化により単年度での元利償還金 は減少している一方、満期一括償還地方債に係 る年度割相当額が累増している。

事業費補正算入額が減少しているほか、臨時財政特例債等の償還額の減により基準財政需要額に算入される公債費は減少している。

これらのことから、実質公債費比率(分子)は高い傾向にある。

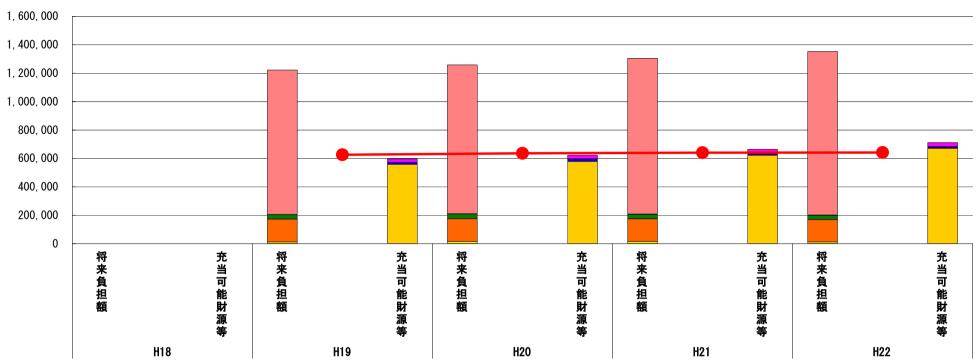
<sup>※</sup>平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

# (8) 将来負担比率 (分子) の構造 (都道府県)

平成22年度

富山県

(百万円)



(百万円)

分子の構造	年度	H18	H19	H20	H21	H22
	一般会計等に係る地方債の現在高	-	1, 016, 871	1, 048, 827	1, 097, 292	1, 152, 340
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	1, 453	1, 222	1, 019	862
	公営企業債等繰入見込額	-	31, 053	32, 639	31, 726	29, 935
将来負担額(A)	組合等負担等見込額	-	-	-	-	-
付木貝担領(A)	退職手当負担見込額	_	161, 190	160, 521	159, 510	158, 914
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	11, 389	15, 159	15, 153	10, 739
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-
	充当可能基金	-	25, 200	25, 423	24, 824	29, 374
充当可能財源等(B)	充当可能特定歳入	-	13, 145	18, 624	17, 120	11, 737
	基準財政需要額算入見込額	_	558, 212	578, 222	622, 485	670, 397
(A) - (B)	将来負担比率の分子	_	625, 400	636, 098	640, 270	641, 282

# 分析欄

基準財政需要額に算入が見込まれる臨時財政対策 債の増加により、充当可能財源が増加している一 方で、これに伴い県債残高も増加することから、 将来負担比率(分子)は高い傾向にある。